

**東部地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会
(只越町・大只越町・大町・天神町・大渡町・鈴子町)
議事要旨**

記

- 日時 平成27年10月24日(土)10時00分～12時00分
- 場所 イオンタウン釜石1Fイベントスペース
- 次第
 1. 挨拶
 2. 工事進捗状況及び発注スケジュールについて：都市整備推進室
 3. 国道45号東側の宅地割り込み状況について：都市整備推進室
 4. グリーンベルト整備状況について：都市整備推進室
 5. 港町2号線道路整備状況について：都市計画課
 6. 釜石駅前広場の改修について：都市計画課
 7. 復興公営住宅の整備状況について：復興住宅整備室
 8. 東部地区集会所の整備について：市民課
 9. フロントプロジェクト1について：リーディング事業推進室
(情報交流センター・市民ホール等)
 10. 汐立雨水ポンプ場について：下水道課
 11. 意見交換

これから東部に作られる駐車場の件だが、事前に説明を受けた際に聞いた金額は 6000 円だと聞いている。上中島は 4000 円。このように差が出てくるのはおかしいと感じる。一ヶ月で 2000 円違うということは一年で 24000 円の差が出てくる。そのあたりをしっかりと考えて欲しい。それから、復興住宅の完成予想図だが、イメージ図ではなく詳細なものを提示して欲しい。

→ 駐車場の料金についての解答です。漁村部や市街地では若干の金額の差異がありますが、近隣の駐車場料金や住宅が立地する固定資産税等を勘案して積算を行っています。

復興住宅の完成予想図についての回答です。このようにイメージ図で表現したのは、やわらかいイメージで住民の方々に親しみをもってもらいたいという設計者の意図があったようです。今回のような意見もあるということで、より具体的な完成予想図を皆様に提示するよう努めます。

復興住宅の完成予想図に関連しての事だが、先日復興住宅の説明会に出席した際に見た資料は、部屋の間取りが非常に簡素で分かりづらかった。以前平田の説明会で見た間取りは、しっかりと設計図のように記載されていたので、もう少し詳細な間取りを提示して欲しい。また、暖房器具についてなのだが、ファンヒーターやストーブは使用してよいものか・設置箇所は決まっているのか等も教えて欲しい。収納に関してどの程度なのかも分からない。

→ 設計図はもちろんありますが、細かすぎて分かりづらいと考えていました。個別に相談していただければ詳細を提示します。

復興公営住宅内は気密性が高いため、エアコン等を使用していただきたいですが、ファンヒーター等も使用可能です。但し換気に十分気をつけて使用をお願いします。収納は、トランクルームを設置する予定ですが、設置場所についてはそれぞれ検討していただきたいと思います。

大町の岩手銀行跡地についての質問。あのあたりは、市が土地を買収する際に受けた説明では「市の公共施設や公営住宅に使用するための土地として使用する」と説明を受けた。しかし、現在その場所の一部には個人の商店が建って営業をしている。これはいったいどうしたことなのだろうか？説明していただきたい。

→ 買収の際には、確かにそういった説明をしました。また、震災後に詳しい復興計画が決まっていない段階では、個人の方に「家や商店を再建してはいけない」と告知する理由がなかったため、各々が住宅や商店を再建していた現状がありました。復興計画が出来上がった段階で、既に再建していた方々には移動をお願いする必要があり、商売をされている方へは、国道沿いの代替地を紹介させていただきました。公共事業を進めるためになるべく配慮をして進めた経緯があり、どうぞご理解をいただきたいと思います。

公営住宅についての質問。天神復興公営住宅は国道から入っていくことがメインだと思うのだが、朝は渋滞するために、道路の拡充などは検討する予定はないか？

→ 裏側からのアクセス経路として大きな拡幅は出来ませんが、出来る限り行いたいと考えており検討している段階です。その際は皆さんにお示ししつつ計画を進めます。

天神町仮設に住んでいる。最近救急車が仮設に呼ばれることが多いと感じている。高齢者の多い仮設に、今後何年も住み続けなければならないかもしれない。公営住宅の建設が遅れているが、誰が設計するかということよりも、だれがここに住むのかという事が大事だと考える。市長には、仮設にどのような人たちが住んでいるのかということをしっかり見てほしい。

→ 復興資材がない等で、入札されず遅れていて申し訳なく思っています。設計は、住む住人を考えて設計をしていきたいと考えています。土地の取得が大変、工事で水が出る等で予測できないことが起こって、遅れていて申し訳ありません。設計の段階でも、高齢者が入居されるため、設計を変更するなどがありました。住民の方の要望に答えられるよう、進めていきたいと考えています。

大町ルートイン付近の車道についての質問。70cmの嵩上げと聞いたが、歩道の嵩上げはいつか？この付近に住宅を建てるつもりなので、情報が欲しい。

→ 工事発注し、工程をつめている段階です。工程が決定したら、住民の方へお知らせしていくので、もう少しお待ちいただくようお願いします。家と歩道の取り付けがどのようになるか、確認しながら進めていきます。

仮設に住んでいるが、先日県からの説明で「仮設から新しい住居へ移動する際、その仮設住宅の最後の住居者のみ、仮設内の備品を次の所へ持って行ってよい」という話があった。しかし、そうではなく、仮設を移動する際に、引っ越し側も引っ越される側も共に備品を持っていけば何も問題はおこらないのではないかと考える。県と市の連携もうまく行ってないように感じる。また、引越しの際には50,000円が支給されるとの事だが、これもとても少ないのではないかと感じる。

→ 廃止が決定した仮設住宅のみ、備品を持って行ってよいと取り決められました。仮設住宅にこれから住む人の中には、それまで仮設住宅で生活していない方も含まれるため、備品を持っていかれると困る方々もいます。どうかご理解いただきたいと思います。また、自立再建や賃貸、復興公営住宅への引越しの際に市から支給される50000円ですが、この金額は様々な事情があって決まりましたが、釜石においてはボランティアによる引越し支援もあるのでどうぞご容赦いただきますようお願いいたします。

(市長)：本日は色々なご意見をいただきました。今後、検討しながら皆様のご要望に沿えればと思います。先ほどのお話にもありましたが、地権者の皆様のご協力がなければ計画が中々進まないところもあります。やっと(復興計画の実現に向けて)形が見えるところまで来たといった所です。改めて、地権者の皆様、市民の皆様に感謝を申し上げたいと思います。これからまだまだ、公営住宅等の計画を進めなければなりませんし、課題は山積しております。来年が特に正念場となり、なんとか形にしていかなければならないと思っています。我々も手を尽くして進めてまいりますので、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

(閉会 11:30)

以上